

痛みの原因とは何か? わかってきた痛みのメカニズム



～QOL低下を防ぐペインクリニックの役割～

副作用も軽減。選択肢が増えている痛みの治療薬

超高齢社会を迎え、腰痛や肩こり、関節痛といった運動器の痛みを訴える患者さんが増えています。一方で痛みの起こるメカニズムが少しずつ解明され、原因不明だった慢性痛から解放される可能性も高まっています。そこで麻酔ならびにペインクリニック領域の専門医であり、7月20日(木)～22日(土)に岐阜で開催される日本ペインクリニック学会 第51回大会で会長を務める岐阜大学大学院の飯田宏樹教授に、痛み治療の最新事情についてお聞きしました。



岐阜大学大学院医学系研究科
麻酔・疼痛制御学分野
教授 **飯田 宏樹氏**
(日本ペインクリニック学会 第51回大会長)
(いいだ・ひろき) 1981年岐阜大学医学部卒業。同大学医学部附属病院など勤務後91年米国留学。94年岐阜大学医学部附属病院講師、准教授を経て2010年より現職。14年4月より同附属病院副院長併任。

目標は、痛みを和らげて日常生活を改善する

痛みは、その持続期間によって「急性痛」と「慢性痛」に大別されます。急性痛は外傷や急性疾患などによって起こり、多くは治療過程において鎮まっています。それに対して慢性痛は本来の組織損傷が修復される期間以上に痛みが残り、日常生活動作が制限されるようになってくる病態のことです。通常3カ月以上継続する痛みと定義されていますが、場合によっては持続期間に関係なく、その性質から慢性痛と診断されます。初期の器質的な痛みの原因がよくわからなくなり、患者の心理・社会的な反応が前面に出て、QOL(Quality of Life)が低下するために痛みそのものが治療の対象となります。

痛みは誰にとっても辛く、不快なものです。私たち医療者も完全除痛をめざしていますが、現時点では難しいといわざるを得ません。痛みをゼロにするために薬の量を増やせば、眠気などの副作用が現れて日常生活に支障をきたす恐れもあります。何より重要なのは「痛みを和らげて日常生活を改善すること」であり、それが慢性痛治療の目標となります。患者は痛みが取れたらいろいろ活動しようと考えがちですが、痛いながら運動を続けることで、痛みの軽減につながることを実証されてきています。

慢性痛の中でも治療が難しいのが、神経障害性疼痛です。何らかの原因で神経が損傷され、痛みの信号をうまく伝えられず、結果として痛み信号を脳に過剰に伝えてしまうことが起こります。ほんの少し触れただけでも、激しい痛みが起る異痛症(アロディニア)が特徴です。代表的な疾患として、帯状疱疹後神経痛や糖尿病神経障害に伴う痛み・しびれなどのほか通常の慢性腰痛の中にも普通にこの病態は見られます。

神経障害性疼痛を代表とする慢性痛の薬物治療の3本柱は、「抗てんかん薬」「抗うつ薬」「オピオイド鎮痛薬」です。それぞれにおいて副作用の軽減など、薬剤の進化はめざましいものがあります。オピオイド鎮痛薬は経口薬から貼付薬まで登場しています。そのほか、痛みの診断・治療を専門とするペインクリニックでは、科学的根拠のある疾患に対しては神経ブロック(※1)によるインターベンション治療も行われます。

今月開催の日本ペインクリニック学会第51回大会では、テーマとして「痛み治療におけるサイエンスと技の伝承」を掲げました。地域によっては、ペインクリニックの専門的治療を広く提供するためにまだまだマンパワーが足りません。必要なのは、科学的根拠に基づいた多面的な痛み治療を追究し、加えて日本で育まれたインターベンション治療の技術を若手医師に引き継ぐことです。そして痛みの専門外来を増やして、どこの地域のどのような患者にも必要な時に最善の治療を受けられる医療体制を構築することだと考えています。(談)

社会医療法人 厚生会
木沢記念病院
理事長 山田 實紘
岐阜県美濃加茂市古井町下古井590番地
☎:(0574)25-2181
FAX:(0574)26-2181
http://kizawa-memorial-hospital.jp/

公立学校共済組合
東海中央病院
病院長 坂本 純一
麻酔科部長 真弓 雅子
(日本ペインクリニック学会認定 ペインクリニック専門医)
岐阜県各務原市蘇原東島町4-6-2
☎058(382)3101

羽島市民病院
院長 大角 幸男
岐阜県羽島市新生町3-246
☎058(393)0111
www.hashima-hp.jp/

地方独立行政法人
岐阜県総合医療センター
理事長 兼 院長 滝谷 博志
岐阜市野一色4-6-1 ☎058(246)1111
http://www.gifu-hp.jp/

ペイン池下クリニック
日本ペインクリニック学会認定 ペインクリニック専門医
医学博士 熊谷 幸治郎
名古屋市千種区仲田2-12-10
☎052(757)3010 完全予約制
http://pain-ikeshita.com

痛みに悩んでいる方はご相談下さい
すみ痛みのクリニック
院長・医学博士 鷲見 和行 (日本ペインクリニック学会認定 ペインクリニック専門医)
岐阜市長住町2-3-5F Tel.058-212-0666 予約優先
(名鉄岐阜駅前) すみ痛みのクリニック 検索